

3. 分析・評価結果の概要

自己評価結果の分析をふまえて討議した結果、当社取締役会は、「取締役会の実効性は有効に機能している」と結論づけました。

【取締役会の議題および運営に関する改善状況】

- ・ 取締役会の議題は、持株会社にふさわしい事項に絞り込んで選定されており、特に、以下の事項について内容の充実が図られた。
 - ① 新規事業領域拡大に関する審議
 - ② 海外飲料事業のモニタリング
 - ③ 株主・投資家との対話に関する報告
- ・ 社外取締役、社外監査役への情報提供については、セキュリティーに配慮したシステムの導入によるアクセス環境の整備により、改善が図られた。
- ・ 議題の重要性に応じた十分な事前説明や審議時間の確保については、一部に課題はあるものの、着実に改善された。
- ・ 重要事項の審議あたっては、社外取締役・社外監査役の意見を尊重する議事進行がなされており、特にグループの将来にとって重要と思われる案件については、性急な結論を求めず、次回送りとするなど、適切な運営がなされた。

なお、取締役会の機能強化を図り、実効性をさらに高めていくための今後の課題は、以下のとおりであるとの認識が共有されました。

- (1) 取締役会の構成については、経営戦略の進展に応じて、ヘルスケア領域の知見を有する人材の登用を行うこと。
- (2) 社外取締役、社外監査役への情報提供については、さらなる早期化と内容の充実化を図ること。
- (3) 投資案件の審議にあたっては、リスクとリターンに関する説明の充実を図るとともに、撤退基準を明確にすること。
- (4) 海外飲料事業のリスクマネジメントについては、現地従業員に対する意識啓蒙を図るなど、さらなる取り組みが必要であること。

4. 今後の取組み

今後につきましては、当社グループの持続的成長の実現に向けて、以下のテーマを中心に、経営戦略の大きな方向性に関する議論をさらに深めてまいります。

- (1) 「自販機ビジネスモデル」のサステナビリティへの重要課題
- (2) グループ全体の事業ポートフォリオのあり方
- (3) 成長戦略を推進するための人材投資のあり方

【ご参考】前年度の課題

取締役会の実効性をさらに高めていくための今後の課題（平成29年3月15日公表）

1. 取締役会の構成については、海外における事業展開の加速や事業領域の拡大等の経営戦略の進展に応じて、さらに多様な人材の登用を行うこと。
2. 取締役会の議題については、審議事項の絞り込みを行い、グループ経営における企業戦略の大きな方向性や、海外事業の重要性の高まりに対応したリスクマネジメントのあり方などに関する建設的議論をより一層深めていくこと。
3. 取締役会の運営については、社外役員への情報提供のあり方、議題の重要性に応じた審議時間の配分、資料内容やその説明の方法等に工夫の余地があること。

以 上